

令和6年度

第3回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書課

1 アンケートの概要

調査対象者	令和6年度 市政モニター 198人
調査期間	令和6年12月2日（月）～令和6年12月16日（月）
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	⑥ 国際交流について ⑦ 新居浜市の広聴活動について
回答率	

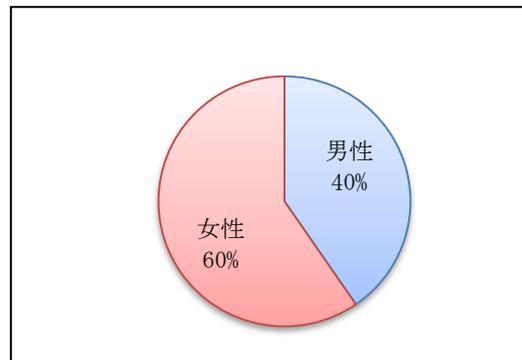
テーマ	モニター数（人）	回答者数（人）	回答率
⑥	198	164	82.8%
⑦	198	160	80.8%

2 市政モニター内訳（※令和6年12月1日時点）

<性別>

（単位：人）

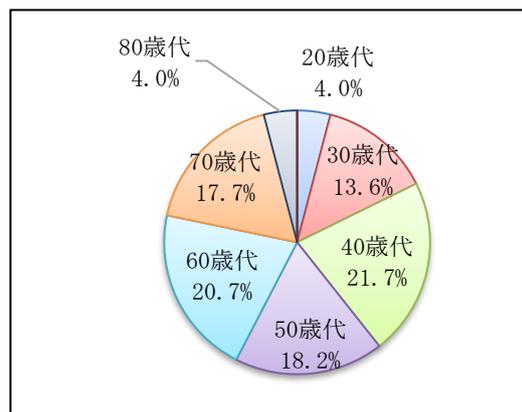
男性	80 (40.4%)
女性	118 (59.6%)
合計	198 (100.0%)



<年代別>

（単位：人）

	男性	女性	合計
20歳代	1	7	8 (4.0%)
30歳代	8	19	27 (13.6%)
40歳代	11	32	43 (21.7%)
50歳代	13	23	36 (18.2%)
60歳代	22	19	41 (20.7%)
70歳代	20	15	35 (17.7%)
80歳以上	5	3	8 (4.0%)



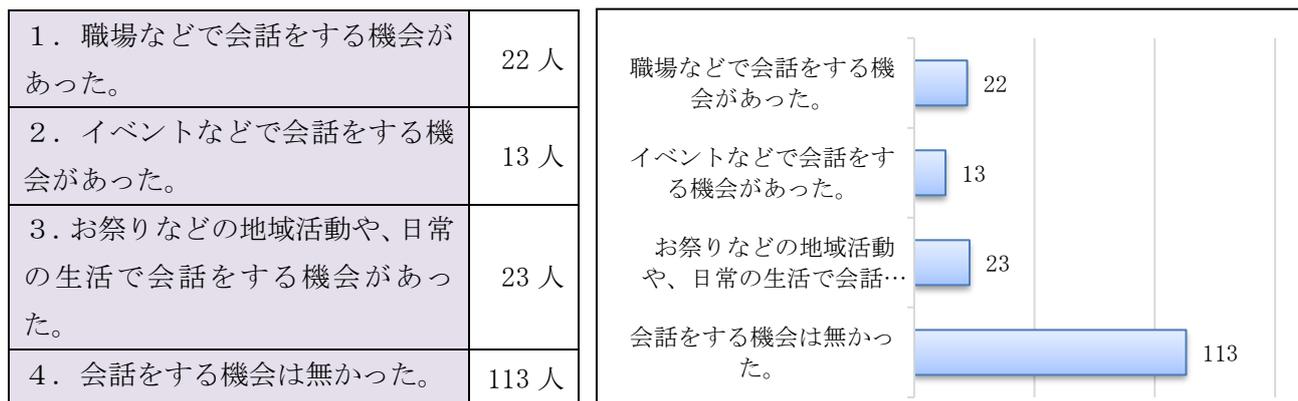
※年齢は令和6年4月1日時点

「誰もが住みたい 住み続けたい多文化共生のまち にいはま」を目指して地域の国際化に取り組んでいますが、このアンケートでは、地域社会での外国人受け入れ状況と、国際都市間交流の認知度について、実態調査を実施したいと考えております。

(担当課：地域コミュニティ課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 新居浜市に住む外国人は年々増加していますが、過去1年間で外国人と会話をする機会がありましたか。【必須】(複数選択)



「4. 会話をする機会は無かった。」(113人)を選択した方が最も多く、「1. 職場などで会話をする機会があった。」(22人)、「2. イベントなどで会話をする機会があった。」(13人)、「3. お祭りなどの地域活動や、日常生活で会話をする機会があった。」(23人)を選択した方の人数を大きく上回り、日常的に外国人の方と会話する機会がある方は少ないという結果となりました。

問3. 問2で「2. イベントなどで会話をする機会があった。」または「3. お祭りなどの地域活動や、日常生活で会話をする機会があった。」を選択された方にお伺いします。会話をした状況などを教えてください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【イベントなど】

- ・新居浜ふるさと観光大使の水樹奈々さんのファンをされており、海外（特に台湾、香港）から新居浜観光のガイドや祭りでの水樹奈々ファンの案内をしています。
- ・医療関係 50 周年のイベントフリーマーケットで日本の食器等の器を買いたい！但し安価で！でもきれいでめずらしく熱心に選んでくれました。(ご夫婦で(若い)) ずっと住みたいと言っていました。
- ・祭りに参加してくれていた、アメリカ、カナダ、オーストラリアの人と交流した。
- ・日本語スピーチコンテストのイベントに参加して、講師の外国人と交流した。
- ・グローバルパーティで色々な国の人と話をした。
- ・秋祭りに来ていた人(シンガポールだったと思う)に神社の事を聞かれ英語が通じた為少し話した。

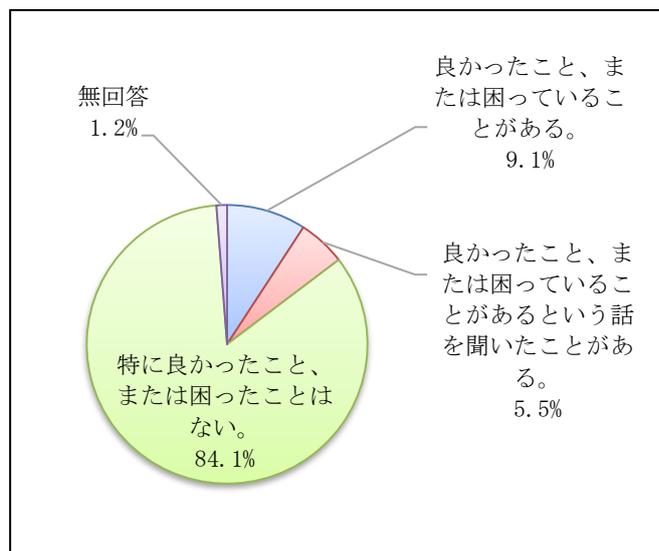
【日常生活】

- ・自治会内に外国人居住者がおり、ゴミ捨てについて話をした。

- ・子供の卒業式に外国から留学している同級生の子と話した（日本語）
- ・近所に教会の牧師さん家族として引っ越して来られた。お互いにガーデニングが趣味でお花の情報などの話をする。
- ・アスファルト工事現場の休憩時間、25才くらいの男性、庭のヘチマの実が何個あるのか数えていました。話かけると、ベトナムから来た、母がよく作ってくれたスープの材料とのこと、少し分けてあげました。翌日も工事に来て、本当に美味しかったとニコニコしていました。その日もヘチマを数個持って帰りました。この会社には、3人のベトナム人男性が居て、一つの家で生活出来るのでヘチマも3人で料理をして、故郷を思い家族を思い食べたとのことでした。
- ・職場で日本語もしくは英語での指導や会話をしている。
- ・車の整備に行った際に、整備士として研修されているミャンマーだったかの2人とお話ししました。
- ・高校生のホストファミリーとして、会話する機会があった。またボランティア活動として日本語の指導をしている。
- ・自宅の近くにある飲食店に行った時にスリランカやミャンマーから新居浜に来て働いている方と話す機会があった。Googleの翻訳機能を使って会話をした。
- ・インド料理店で、そのお店の方と会話しました。
- ・外国人がドラッグストアで探しているものがあつたようで、スマホの日本語機能を使ってどこにあるのか聞かれた事があつた。
- ・語学講座で外国人講師に教えて貰っている。
- ・国際交流協会の講座の、中国語・ベトナム語・インドネシア語。
- ・お店にドイツの方がやってきて携帯で意思疎通した。英語圏の方が来店したときは携帯と簡単な単語で意思疎通を行った。

問4. 新居浜市に住む外国人が増えたことで、良かったこと、または困っていることはありますか？【必須】（1つ選択）

1. 良かったこと、または困っていることがある。	15人
2. 良かったこと、または困っていることがあるという話を聞いたことがある。	9人
3. 特に良かったこと、または困ったことはない。	138人
無回答	2人
合計	164人



「3. 特に良かったこと、または困ったことはない。」(138人)と答えた方が最も多く全体の84.1%でし

た。次いで多かったのは「1. 良かったこと、または困っていることがある。」(15人)で9.1%、「2. 良かったこと、または困っていることがあるという話を聞いたことがある。」(9人)5.5%という結果となりました。

問5. 問4で「1. 良かったこと、または困っていることがある。」または「2. 良かったこと、または困っていることがあるという話を聞いたことがある。」を選択された方にお伺いします。良かったこと、または困っていることを具体的に教えてください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【良かったこと】

- ・中小企業の労働力が確保できている。
- ・空き家を使ってくれる。
- ・研修に来ている人に借家紹介したところ、きれいに使ってくれるか心配しましたが、男性4人同居だったのにとってもきれいに使用して下さり、内心びっくりしました。少し偏見を自分が持っていたことを反省しました。
- ・地域の担い手と異文化の学び。
- ・子供が英語を習っていることで、外国人に興味を持った。
- ・英語の練習になる。
- ・外国の方と自宅近くの飲食店で一緒にご飯を食べる機会があった。その際に外国の方が困っている事や外国の文化や暮らしについて話をしてくれて、日本との違いがよくわかった。
- ・色々な言語を使う機会があるのが良い。

【困ったこと】

- ・困っている事で、交通ルールの徹底、技能実習生だと思うのですが自転車で危ないケースを見る。
- ・外国人が近所に越してきた事によるかはわからないが、ゴミの分別が出来ていなくてゴミ収集車が持ち帰ってくれない。
- ・ゴミの出し方などで困っていると聞いた。(日本人の方も、外国人の方も)
- ・以前中国の方が、子供がうるさいとの事で、借家を出されて家を探していました。言葉がなかなかわかりにくく、家を紹介しましたが、熱心なのは理解できるが、行動がマイペース。車の駐車も注意、一生懸命さは伝わる。
- ・治安の悪化。無保険車両の事故。
- ・外国籍の子どもが日本語も英語も話せないまま、転入してきて学校に在籍していたことがあり、コミュニケーションがとても難しかった。
- ・近所のアパートから、外国の音楽が大音量でかかっていたので困ったことがある。ゴミ捨てのルールについて、伝達と徹底が難しいと聞いたことがある。
- ・車や自転車の運転のマナーの悪さ。つい先日も友人が危険運転をしている中東系の外国人を見て怖い思いをしたそうです。前の職場ではベトナムの技能実習生がたくさんいましたが、近隣住民から自転車マナーの悪さで苦情電話が来ることもありました。
- ・日本と本国との法律や文化の差を理解出来ない。例えば山での植物の採取。本国では合法でも日本では民間地だと理解出来ない。
- ・新居浜の行くべき場所、店として紹介できるものがなかったので困った。社会制度(保険など)説明が複雑すぎて面倒。

- ・自転車通行マナーが悪い。並列以上で車道を走っているのに遭遇し、車運転側としては危険を感じる。
- ・労働力としては、価値がある。但し、文化の違いによる日本の常識を、よくわかっていない場合が多い。この原因は、送り出す機関・受け入れる機関共に十分な教育をしていないことです。また、労働力としての受け入れが企業任せになっています。お互いの文化・習慣の違いを認識していないのと郷に入れば郷に従うの理解不足がありますね。具体例は、ネコ・鳩・犬は食べてよいか、自動販売機のことを金庫と認識している場合があり、大切なものは屋内に置き鍵をかけていないととっても良いと言う文化。カニ・エビ・魚は、どこで取っても良い（小さなもので誰も注意しない場合）
- ・スケートボードでお出かけするアジア人が邪魔。（山根大通り）

問6. 今後も新居浜市に住む外国人は増えることが予想されますが、そのことに関して楽しみに感じる点、または不安を感じる点があれば教えてください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

【楽しみに感じる点】

- ・異文化に接する事は、楽しみです。接する事がないので、とまどう事も多くなるかもしれません。
- ・外国文化を知り、知識が広がる。
- ・異文化を知る事が出来るのが良い。産業の担い手が増える事により助かることが多いと思う。外国人はしっかり仕事をし、真面目な方が多いと聞くので期待している。
- ・外国の料理が知りたいので教えてほしい、そういう機会があるといいなと思います。
- ・外国の方と、友達になりたいので、平日の昼間開催されているコミュニティがあれば参加してみたいです。
- ・子どもたちに異文化交流する機会が増えたらいいなと思います。
- ・外国から来る人は若い人が多いので元気な感じになり（活気）良い。
- ・英会話が上達したらいい。外国の食文化を伝承してほしい。
- ・人口が増えて、活性化するのは良いことであり交流できると楽しいと思う。
- ・楽しみに感じる点は、色々なお国の方とお話をして日本では知らない様な事を聞いてみたいと思います。
- ・少し構えますが、普通に新居浜市民が一人でも増える方向に外国人への理解深められるイベントが欲しいです。
- ・接するには、先入観ではなく、何年か接しているとその人の良さ、性格も分かります。自分も外国へ行けば大変だと思う、相手が喜ぶ事を考えて、誠心誠意で接したらと思います。今までの経験です。
- ・文化の違いや生活の違いなどをお互いに知る方が増えていくと、外国の方が増えることの不安は減らせると思う。そのような活動を期待しています。
- ・お互いの文化を尊重しながら、楽しく会話ができたらいいなと思う。
- ・助け合いや協力できることが増えていくことに期待。
- ・いままでにいろんな国の人と（ほとんど日本語または翻訳アプリで）お話をしてきたが、異文化交流は楽しい。あまり不安を感じたことはない。

- ・外国の方と知り合いになれることは、ワクワクします。最近イベントに参加出来ませんでした。イベント時は楽しく過ごしました。強いて言えばもう少し語学が堪能で十分な意思疎通が出来るともっと得るものが有ったと思います。
- ・個人的には多くの外国の方と文化や習慣等、交流を持ってみたいが、実際には機会がないのも事実です。何か交流の持てる敷居の低い催しがあれば良いのにとと思います。
- ・いろいろな人と接して多様性を感じることで、自分自身の視野も広がっていくと思います。また、働く世代やその家族が増えることで、まちの活性化にもつながると思います。

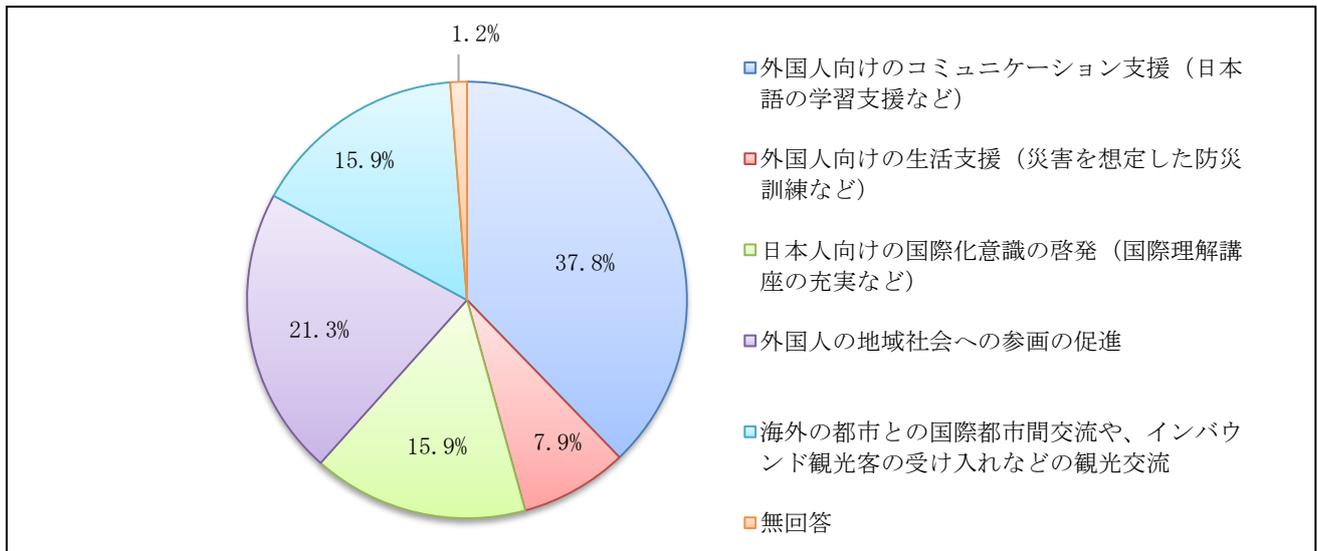
【不安に感じる点】

- ・治安面の不安がある。
- ・ニュースで、外国人による犯罪の報道が増えている。外国人の数が増えれば、そういう外国人も増えるだろうと思うのだが、少し不安になる時がある。
- ・外国人の犯罪をたまにニュースで見ます。偏見もあると思いますが、少し気になります。
- ・外国人が定住となった場合同国の人の集団地域が出来て何か問題が起こると国際問題となり争いが起きないか不安である。
- ・生活習慣や考え方の違いでトラブルが増えないか。
- ・言葉がわからない。
- ・不安に感じる点としては、自治会などのルールなどゴミ出しのマナーなどルールを伝えるツールが難しい日本語だと伝わりにくいかもです。
- ・日本の学校教育内の学力や語学では通じない点を危惧している。
- ・交流がないのでお互いを理解していない分、集団でいると怖いと感じる。
- ・文化、習慣のちがいにより、マナー面が守られない事。
- ・様々な犯罪が増加するのでは？と切に思う。
- ・言葉が通じないことが原因で様々なトラブルがおこるのではないかと思う。又、習慣や風習の違いから起こるトラブルも考えられる。
- ・現在、新居浜は運転マナーが非常に悪いと感じますが、不慣れな外国人が増えるとますます運転しにくい町になる気がします。※あと、自転車かぶって青いラインの所をたくさん走られると非常に怖い。
- ・一部の外国人の方によって治安が悪化することが懸念されます。移住されてきた外国の方々に、日本や新居浜市のルールをしっかりと研修等、市や企業が研修していただければと思います。
- ・国際的にも外国人労働者の争奪戦になっており、日本の文化を知りたくて来る外国人労働者はいますが、円安で母国への送金が減る現状では、中国/韓国/台湾に外国人労働者は流れて行き、今後も(日本)新居浜市に住む外国人は増加のスピードが鈍化すると考えます。また、国別にみると\$10,000クラブ(1人当たりのGDPが\$10,000を越えた国)からの出稼ぎ労働者は減るため、既に\$10,000クラブを越えている中国からの出稼ぎ労働者は減少傾向で、ベトナムからの出稼ぎ労働者は微増しているが、後5年くらいで増加が鈍化し\$10,000クラブに入った時点から減少してくると思われれます。ミャンマー、カンボジア、フィリピンからの出稼ぎ労働者は微増で増えているが、労働意識が低くもう一つ使い物にならない。今後期待できるのは、教育熱が加熱している中国からの留学生や若年留学生であるが、大学や私立の高校が無い新居浜市には来ないであろうと予想します。
- ・外国人の方が不便に思うことなど、相談できる場所が市にあればいいと思う。

- ・平時は大丈夫だと思うが、災害発生時にはなかなかフォロー出来ないと思う。色々な国の人が馴染んでくれば良いと思うが、田舎の風習が外国人の人には理解しづらく、新居浜から転出したい人もいると思う。
- ・全ての外国人が日本語を話せるわけではないし、マナーを知らない人も多いので基本的なやり取りが通じるように、また、生活する上でのルールや注意点をしっかりと指導してほしいです。
- ・文化、生活様式が違うのであれば、もともと新居浜に住んでいる方も、これから住む外国の方も、上手くやっていけるか双方が心配に感じると思う。
- ・コミュニケーションに少し不安はある。外国人の方に頼ってもらったときに何もできないと思うし、逆に外国人の方も頼りづらい気がする。
- ・新居浜の人口が増える事は嬉しく思います。文化の違う国の人が増えるとマナーや常識の認識の違いが出てくると思うしそこからトラブルに発展していくこともあると思うので市の方からも伝えてほしいです。
- ・自治会などに加入しているケースを聞いたことがないので、どこの誰が住んでいるか不安に思うことがある。
- ・これは、新居浜に限った事では無いと思うのですが、オーバーツーリズム的な問題とか、無人販売所におけるトラブル等、昔の日本では、起こりえなかった事が、各地で多発しております。これは、外国人が増えたことによる事が要因とも思われるのですが、こう言う事が、新居浜で外国人が増える事によって、多発するようになるのではと、心配しています。
- ・外国人の働き手が増えることによって、これから新居浜で仕事をしていく人達の就職幅が狭まることに不安を感じる。

問 7. 新居浜市では、令和 3 年に国際化基本指針を作成し、「誰もが住みたい 住み続けたい多文化共生のまちにいはま」を基本理念としてさまざまな施策に取り組んでおり、外国人にとっても住みやすいまちを目指しています。今後重点的に取り組めば良いと思う項目を 1 つ選んでください。 【必須】（1 つ選択）

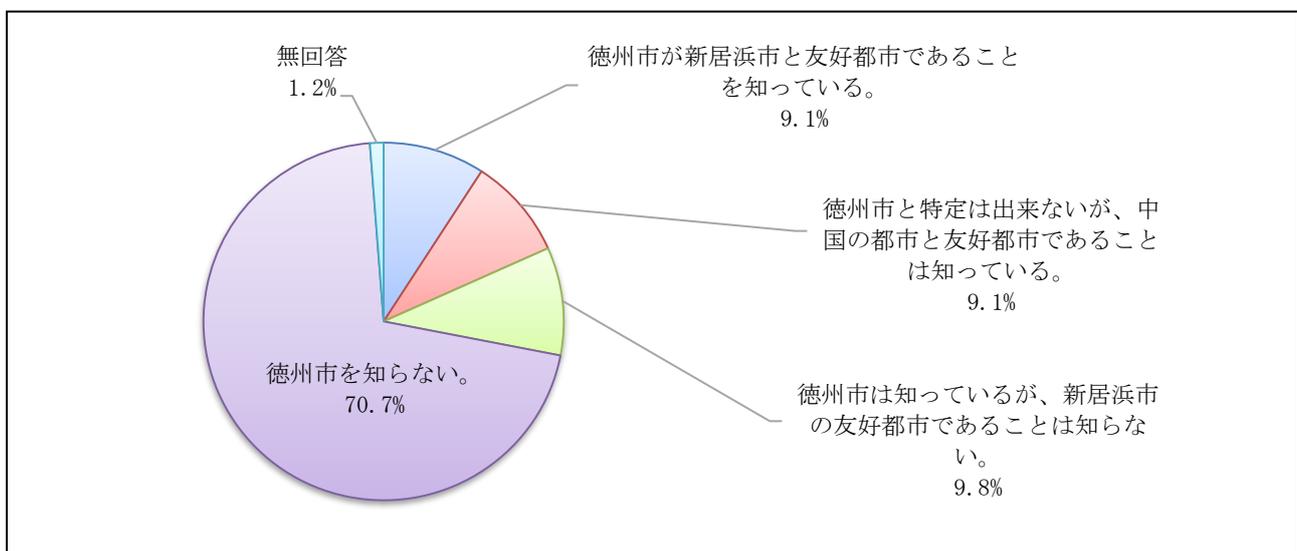
1. 外国人向けのコミュニケーション支援（日本語の学習支援など）	62 人
2. 外国人向けの生活支援（災害を想定した防災訓練など）	13 人
3. 日本人向けの国際化意識の啓発（国際理解講座の充実など）	26 人
4. 外国人の地域社会への参画の促進	35 人
5. 海外の都市との国際都市間交流や、インバウンド観光客の受け入れなどの観光交流	26 人
無回答	2 人
合 計	164 人



最も多く選ばれた選択肢は「1. 外国人向けのコミュニケーション支援（日本語の学習支援など）」（62人）で全体の約4割近くの方が選択されました。次いで多く選択されたのは「4. 外国人の地域社会への参画の促進」（35人）で21.3%、「3. 日本人向けの国際化意識の啓発（国際理解講座の充実など）」（26人）、「5. 海外の都市との国際都市間交流や、インバウンド観光客の受け入れなどの観光交流」（26人）で15.9%という結果になりました。

問8. 新居浜市では、平成9年に中国の徳州市と友好都市として締結し、相互訪問などの交流を継続していますが、その取り組みをご存じですか？【必須】（1つ選択）

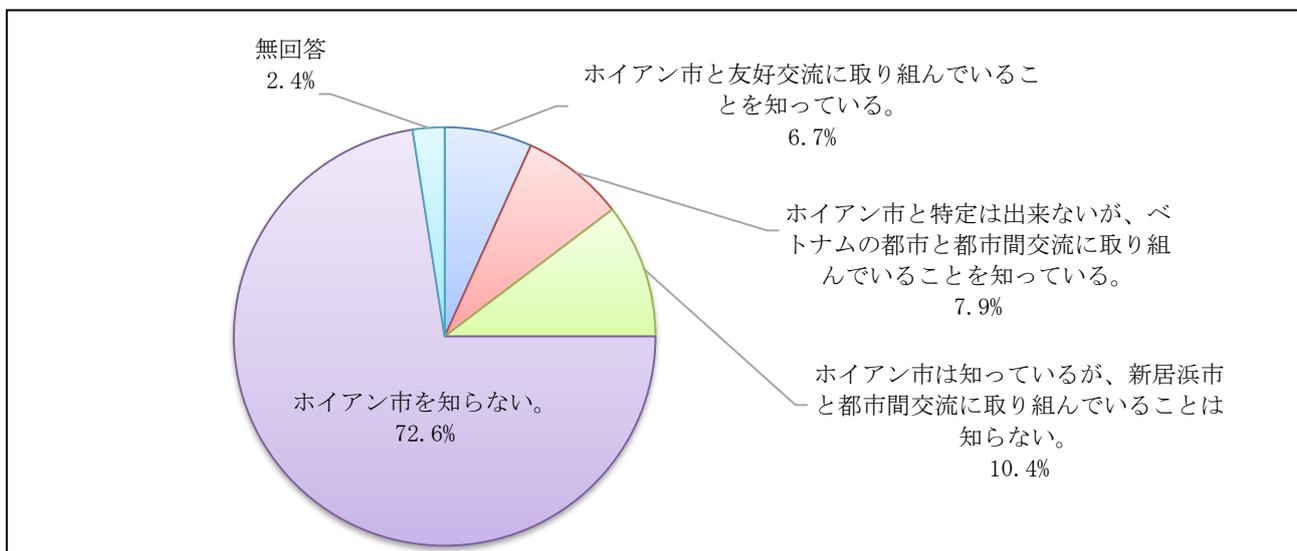
1. 徳州市が新居浜市と友好都市であることを知っている。	15人
2. 徳州市と特定は出来ないが、中国の都市と友好都市であることは知っている。	15人
3. 徳州市は知っているが、新居浜市の友好都市であることは知らない。	16人
4. 徳州市を知らない。	116人
無回答	2人
合計	164人



「4. 徳州市を知らない。」(116人)と答えた方が最も多く全体の70.7%でした。「1. 徳州市が新居浜市と友好都市であることを知っている。」と答えた方は15人で全体の9.1%でした。

問9. 新居浜市では、令和5年からベトナムのホイアン市と国をまたいだ都市間交流に取り組んでいることをご存じですか？【必須】(1つ選択)

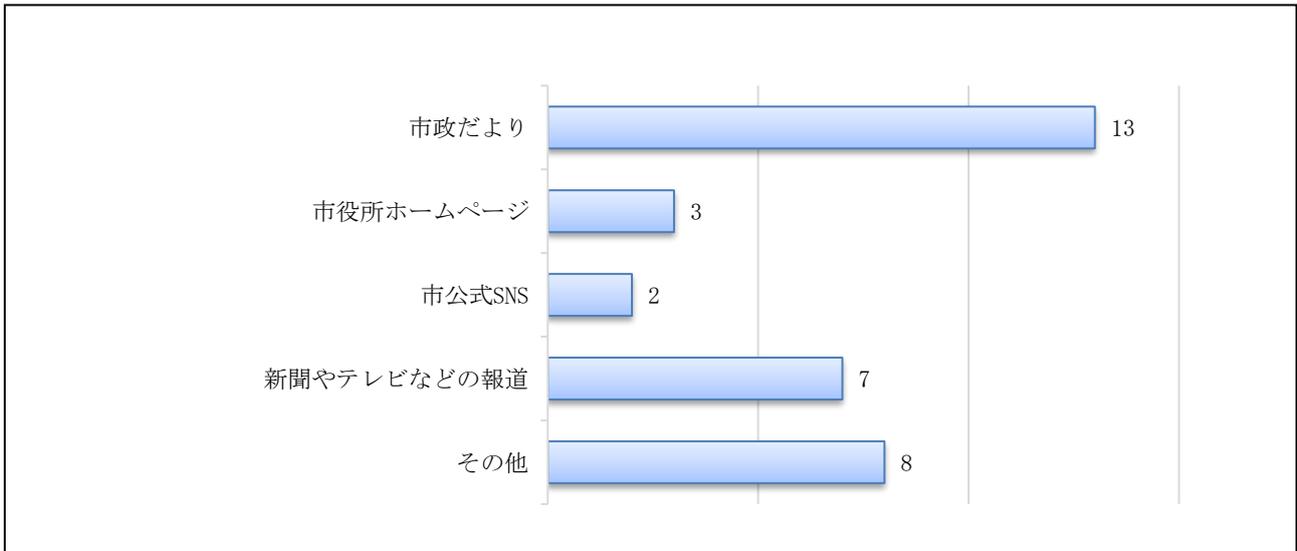
1. ホイアン市と友好交流に取り組んでいることを知っている。	11人
2. ホイアン市と特定は出来ないが、ベトナムの都市と都市間交流に取り組んでいることを知っている。	13人
3. ホイアン市は知っているが、新居浜市と都市間交流に取り組んでいることは知らない。	17人
4. ホイアン市を知らない。	119人
無回答	4人
合 計	164人



「4. ホイアン市を知らない。」(119人)と答えた方が最も多く全体の72.6%でした。「1. ホイアン市と友好交流に取り組んでいることを知っている。」と答えた方は11人で全体の6.7%でした。

問10. 問8と問9で「徳州市またはホイアン市との友好交流に取り組んでいることを知っている」と回答された方にお伺いします。(問8、問9それぞれ「1」の選択肢を選んだ方) その情報を何で知りましたか。(複数選択)

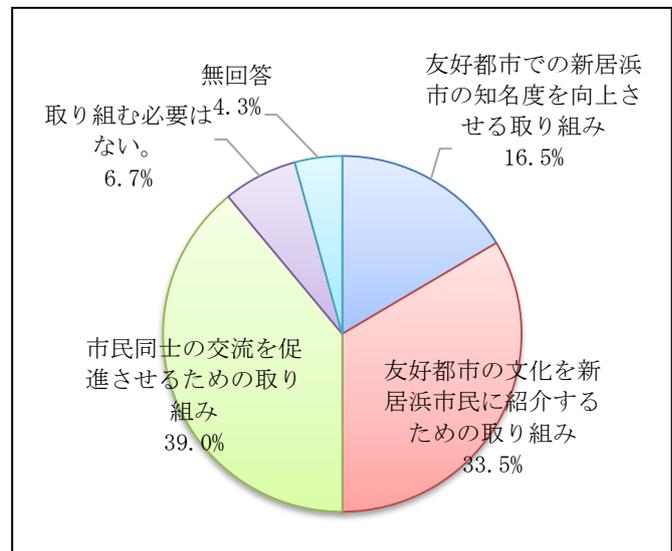
1. 市政だより	13人
2. 市役所ホームページ	3人
3. 市公式 SNS	2人
4. 新聞やテレビなどの報道	7人
5. その他	8人



問 8・9 で徳州市またはホイアン市との友好交流に取り組んでいることを知っていると感じた方の情報源として多く挙げられたのは「1. 市政だより」で 13 人の方が選択されました。また、「4. 新聞やテレビなどの報道」を選択した方も 7 人いました。

問 1 1. 新居浜市では、国際理解の促進や、海外との産業・経済・文化交流を活性化するため、今後も国際都市間交流を継続したいと考えていますが、今後重点的に取り組めば良いと思う項目を 1 つ選んでください。(1 つ選択)

1. 友好都市での新居浜市の知名度を向上させる取り組み	27 人
2. 友好都市の文化を新居浜市民に紹介するための取り組み	55 人
3. 市民同士の交流を促進させるための取り組み	64 人
4. 取り組む必要はない。	11 人
無回答	7 人
合計	164 人



「3. 市民同士の交流を促進させるための取り組み」(64 人) と答えた方が最も多く全体の 39.0% でした。次いで多かったのは「2. 友好都市の文化を新居浜市民に紹介するための取り組み」(55 人) で 33.5%、「1. 友好都市での新居浜市の知名度を向上させる取り組み」(27 人) 16.5% という結果となりました。

問12. 新居浜市の国際化の推進について、幅広く意見を聞かせてください。(自由記入)

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・積極的に取り組んで欲しい。
- ・外国の文化が新居浜にも取り入れられればいいと思います。
- ・外国語の勉強をしてボランティアなどできたらいいなと思います。
- ・人手不足になるから外国人の方に来てもらわないといけないと思います。やはりコミュニケーションが大事。
- ・高齢者にとって外国人と接する、交流する機会はほとんどないと思う、就労のために新居浜市で生活している外国人は大勢いると思うが、生活費に苦労している話を聞いたことがある。物価が安いとか、給料が良いとか、という環境が必要になるのではないかと思う。
- ・新居浜市が他国と交流をされていることは知りませんでした、もっと市政だよりなどで市民にわかるようにしていただけるとありがたいです。
- ・新居浜市独自というよりは隣接する市や県との連携で取り組む方がよりよいのではないかと思う。
- ・外国の方との交流や、受け入れにくい方が新居浜にはまだたくさんおられます。私の息子がいた高専には外国の方もいて、息子は身近にいた事で抵抗がない様です。私達40代世代になると、なかなか周りに外国の方はいなく保育士をしていると、なおさらです。私は平日の昼間なら時間がとりやすいので、そういうコミュニティがあれば英語は話せませんが、仲良くなり、友達になりたいです。
- ・観光の面ですが、1回は来てくれるけどリピーターが少ない。観光の目玉が祭りになってしまうが、山根グランド以外に見せられる場所がない。(安全面や交通面で)
- ・私の親が入所している施設に外国の方が沢山いて、お世話して下さっています。色々な経験や学びを世界で共有していく事、大切だと思います。地域にも海外の方が沢山住んでいらっしゃると思いますが、交流の場をもっと増やして頂く事でお互いが安心して住める新居浜市になるのではないかと考えております。
- ・特定の人だけが交流するのではなく、広く浅くでも良いのでたくさんの方が気軽に交流できれば、理解も深まるのではないかと思う。例えば中学生など、数名だけがホームステイに行っていますが、多くの生徒が新居浜在住の外国の方と交流できれば良いと思う。若い時に交流した経験があれば、大人になってからも地域の国際化に協力的であったりするのではないかと思います。
- ・新居浜市の人口減の状況で、高齢化が進んでおり国際化に力を入れるのは良いことだが、これからの新居浜を支えるであろう年齢層に、国際化に力を入れている情報が入ってきているとは思えない、20代、30代、40代、学生の10代への学校からのおたよりなど、市民に対してもっと情報があってもと感じている。知っている人と、知らない人の差がありすぎる。
- ・新居浜市だけの問題ではなくなり、生活の中にすでに、国際化を推進しつつ有る現在私達だけでなく次の世代の子供達の事が心配となっています。教育や環境も大きく変化しています。ただ人口だけの問題ではなくなっていると思います。
- ・国際交流センターに、たまに行きます。この間も行きました。場所が分かりにくいです。学校に通っていて日本語が分からない子どもたちに教える人を募集していたのでやろうと思ったけど人数が集まらなくて講座が開催されなかったのでできませんでした。別に講座が開催されなかったのでできませんでした。別に講座をうけなくてもできるようにすればいいと思います。子どもたちはその間にも困っていると思うので。
- ・国際交流協会の存在をロータリーの国際奉仕員を経験する事により知る事となりましたが、ほとんどの人が存在や活動を知らないのではないかと思います。小学生、中学生、高校生の中から存在を知ったり

関わる事とかが必要なのではないでしょうか。

- ・幼稚園や保育園で、国際交流をする場を設けるのはいかがでしょうか。
- ・新居浜市では、国際理解の促進や、海外との産業・経済・文化交流を活性化するため取り組んできたようだが効果はでてるのか？あまり知られてない地域への交流の意味は？
- ・国際化は少子化と合わせて避けては通れない課題だと考えています。新居浜市が 50 年後も継続して運営されることを期待しているし、未来性があれば移住者も増えると考えています。応援や支援をしたいです。
- ・日本人が外国人に歩み寄るのではなくここが日本である以上、日本に正規の手段で来日しているのなら日本に歩み寄るのは外国人である。イスラム教やクルド人、中国人に譲歩した結果が今の大分、熊本や埼玉である日本の行政の仕組みを悪用しない納税をちゃんと行う外国人のみを歓迎し日本文化を尊重して日本人に歩み寄れる外国人だけを歓迎すべきだ。
- ・外国語案内板の増設。簡単な道案内が出来る翻訳案内書の配布。
- ・国際化の推進の第一歩は、実際に新居浜市で就労・生活している外国人の方の気持ちや意見に耳を傾けるべき。
- ・若い人材が相互交流できる文化活動などあればいいと思う。
- ・旅行者を増やすという国際化であれば、別子山やマイントピア等観光施設への交通手段、案内を充実した方が良くと思う。住民としての国際化であれば、就業や生活の支援等、今在住の方々に不満な点を教えてもらいたい。
- ・新居浜市が国際化を推進していくことは大賛成ではあるが、もちろん異文化ゆえのマイナス面もあることを考慮して国際化に取り組んでほしい。
- ・仮に留学生を受け入れるなら、ボランティアではなく食費や良識の範囲内での報酬はあって良いと思う。なぜか、日本へ来る留学生には日本側はボランティアで、海外へ留学するなら高い費用を払うというのが納得できない。
- ・国際化を進めることで子供達もその国の事を学びたいと思うようになるかもしれないきっかけになる事もあると思うのでどんどん子供達の為に進めて欲しい。
- ・国際化の促進にはあまり興味が無いが、町の活性化に繋がったり今新居浜に在住している外国人の方がより住みやすく、愛着を持って生活できる町になるために、市民も理解をしたり参加したりする機会が増えるといいなと思った。
- ・現在の日本では、外人の雇用を促進しているがさて本当に両手離しで歓迎されているだろうか？各地の問題や国の指針を見ても、問題が山積みだ。元々日本は鎖国していた国であり、他国との国境が陸地で無い為、外国人との交流に積極的で無いし他文化を受け入れる基礎も無い。法的な面で見てもまだまだ整備されて無く、全くと言って良い程浸透していない。各地でトラブルが発生しているが、マスコミは全く報じる事も無く又それを言及する日本人や市民団体に対して、差別主義者やヘイトクライムとマスコミ各社がこぞって取立てるのが現実。そんな感じで国においても基礎的なものが整備されて無い現状で手放しで受け入れるべきでは無い。雇用を外人に求めるより、日本人ひいては新居浜の人間が地元でしっかり雇用が有ると言う事が、健全な国家のあり方であり地方活性化にも直結する。雇用、賃金がしっかりと整えば人口減少にもストップが掛かり、少子化問題改善になる。今この現状で若者が、新居浜で職を得てこの地で結婚し明るい未来を構築出来るであろうか？このままでは国防すらままならない。いつまでも外人頼みに偏るより、日本人の増加を地方都市から考える時が来ている。
- ・全く国際化を感じない。日本語のみの表記、英語も中国語もスペイン語も韓国語も、新居浜の人が話しているのを聞いたことがない。

- 日本の文化を知ってもらうだけでなく、外国の文化に私達が触れ合う機会があればもっと身近に外国人の方を感じられるのではないのでしょうか？例えば、友好都市の物産展等、会議室だけで行われる交流ではなく、広く市民の方々が訪れ目にする事ができるイベント的なものが開催できればよいのでは？と思います。
- 「国際化」して「外国人」と「国際交流」する。話が曖昧すぎて何がしたいのかさっぱり分からない。もっと色々な地域の人が住んでいたら嬉しい。トルコ人とケバブ食べて、フランス人とラグビー見たい。
- 新居浜在住の外国人（個人、団体）を紹介する機会を増やすことを提案いたします。
- 外国人が定住するためには日本人との結婚がベストかと思いますが、行政の婚活サポートだけでなく民間の結婚相談所も巻き込んでサポートすることで一過性の観光に終わらずに定住に繋がれると考えます。
- 日本語スピーチコンテストに参加して素晴らしい取り組みだと感じました。新居浜で生活している外国人の方の人となりを感じられ、応援したいと思いました。惜しむらくは観客数が少なかったので、行政が協力して動員を増やして欲しいです。
- 少子高齢化にともなう労働力としての外国人の受け入れと、国際交流は区別して考えるべきだと思います。市段階で姉妹都市とかよく聞きますが、庶民にはそんな余裕はありませんしね。中国徳州市との交流の際は、当時の勤務先でちょっとだけ関わりましたが、その後どうなっているのかは聞いてないです。徳州市の交流が、中国との関係改善の一助になればと思いますが、まず無理でしょうね。
- 在留外国人の市内施設への訪問促進（老人施設・保育施設・小／中／高校）
- 開催イベントへの参加促進。
- 外国人にも役割分担してもらう。
- 新たに来た外国人と先住同国人との交流促進。
- 市民に浸透し、活力を感じる市になればと感じる。人口減少の中、労働力含め国際化は必然である。空き家など住居として外国人に提供できればと思う。
- 新居浜市の国際化は賛成です。まずは市民が住みよいと思える環境を整えて受け入れ体制を考えて欲しい。
- 言語の習得を前提として、新居浜市の特徴を理解していただくことに力を入れることが欠かせないと思います。（今日の日本では、新居浜以外の都市や地域も同様に国際化には力を入れているところが多いようで、他と違うところ＝特徴を知ってもらうことが必要では。）また、新居浜自身も伝統を大事にしつつ、新しい開かれた発想をさぐっていく柔軟さがないと、国際化を進めにくくなるのではないのでしょうか。
- はたして、特定の国に偏ってよいかと言うと答えはNOです。幅広い外国文化・習慣の知識が必要になると考えます。特に、メディア関係の方々の勉強不足が目につきます。ただ単に日本語に翻訳し記事にしているだけの方が多いのが問題です。本質は何か考えていただきたい。読む人々に対する影響がどれほど印象を与えているか、考えていただきたい。
- 予算によっては、西条市や四国中央市と広域で連携して国際交流を図る必要もあるかもしれません。色々な都市と交流を深めることにより、お互いの都市の知名度向上や観光客の流れなどの経済効果があると考えられるので、これからも続けていくべきだと思う。
- 建前だけの交流にならないように、未来をみた交流取り組みに期待しています。時代によって交流の内容も変わってくるので、前と同じようにを繰り返しての交流は発展しないと思います。
- 台湾との国際交流を考えていただきたい。
- 国際交流やいろいろな活動を知って参加している人の方が、全くない人よりはるかに少ないと思う。地

域の活動やこどもの学校活動などの身近なところで参加したり、交流できる活動が増えたら、もっと身近なものになると思う。

- ・イオンで中国語や英語の案内板を見るので、他言語に対応したホームページやSNS活用を希望します。

<まとめ>

今回の市政モニターアンケートでは、地域社会での外国人受け入れ状況と国際都市間交流の認知度についての実態を調査させていただきました。

まず、地域社会での外国人受け入れ状況について、約3割の方から過去1年間で外国人と交流する機会があったとご回答いただきました。特に、日常的な場面で外国人と交流された方が多いことから、外国人が特別な存在ではなくなっていることがわかりました。また、8割以上の方が、本市に住む外国人が増えたことで良かったこと、困っていることが無いとのご回答だったことから、外国人を特別視することなく、自然な形で受け入れられている実態がわかりました。ただ、自由記入欄で、【良かったこと】、【楽しみに感じる点】を挙げられる方より、【困ったこと】、【不安に感じる点】を挙げられる方が多かったという結果には留意が必要であると考えています。国際化の推進についてご記載いただいた内容も含めて、お寄せいただいた多くのご意見を精査し、「誰もが住みたい 住み続けたい多文化共生のまち」の実現に向けて具体的な施策を展開してまいります。

次に、国際都市間交流の認知度についてですが、本市が取り組んでいる中国の徳州市とベトナムのホイアン市との交流について、どちらの市との交流についても認知度が低いことから、情報発信が足りていない現状が浮き彫りとなりました。国際都市間交流に取り組むことには好意的なご回答が多かったので、市民同士の交流促進や、友好都市の文化を新居浜市民に紹介するための取り組みなど、今後も国際都市間交流を継続し、情報発信の強化に努めてまいります。

(担当：地域コミュニティ課)



©NPO 法人新居浜まちゆり隊

テーマ⑦ 新居浜市の広聴活動について

【調査趣旨】

新居浜市では、市長への手紙やメール、市政モニター制度などを通じて、広く市民の皆さんのご意見やご提案（市民の声）をお聞きし、市政への反映を図っています。

今回のアンケートでは、これらの広聴活動について、市民の皆さんの認知度やニーズ等をお聞きし、今後よりわかりやすく身近な広聴活動を進めていくために活用していきたいと考えています。

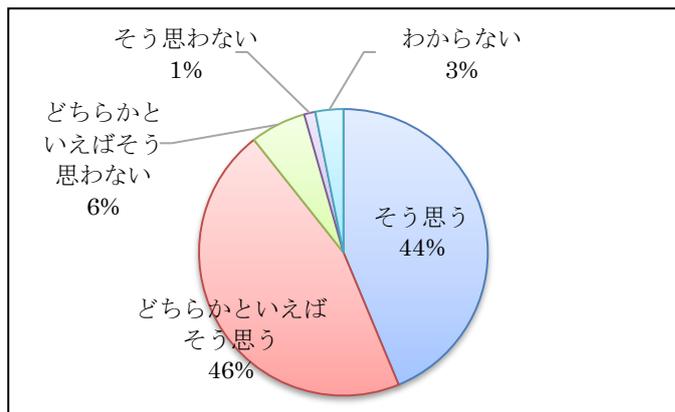
(秘書課)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 市政モニターの活動を通じて、市政に対する理解や関心が高くなったと思いますか。

(1つ選択)

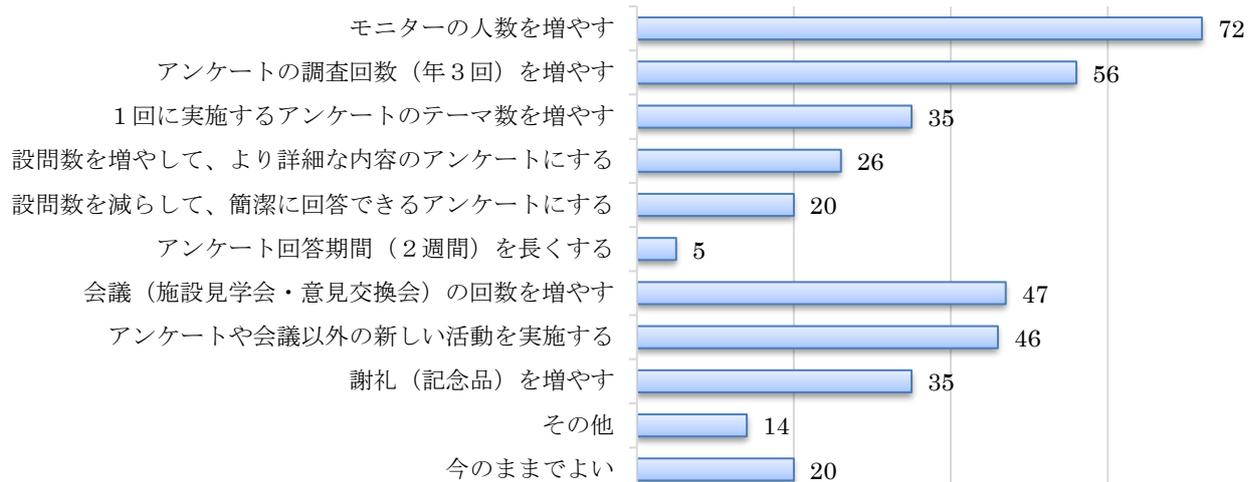
1. そう思う	70人
2. どちらかといえばそう思う	73人
3. どちらかといえばそう思わない	10人
4. そう思わない	2人
5. わからない	5人



「2. どちらかといえばそう思う」(46%)と答えた方が最も多く、次いで「1. そう思う」(44%)、「3. どちらかといえばそう思わない」(6%)、「5. わからない」(3%)、「4. そう思わない」(1%)の順となっています。

問3. 市政モニター制度は、市民の声を市政に反映させるとともに、市民の市政への関心を高めることを目的として実施しています。さらに充実した制度にするために、どのような工夫や改善が必要だと思いますか。(複数選択)

1. モニターの人数を増やす	72人
2. アンケートの調査回数(年3回)を増やす	56人
3. 1回に実施するアンケートのテーマ数を増やす	35人
4. 設問数を増やして、より詳細な内容のアンケートにする	26人
5. 設問数を減らして、簡潔に回答できるアンケートにする	20人
6. アンケート回答期間(2週間)を長くする	5人
7. 会議(施設見学会・意見交換会)の回数を増やす	47人
8. アンケートや会議以外の新しい活動を実施する	46人
9. 謝礼(記念品)を増やす	35人
10. その他	14人
11. 今のままでよい	20人



「1. モニターの人数を増やす」（72人）、「2. アンケートの調査回数（年3回）を増やす」（56人）、
「7. 会議（施設見学会・意見交換会）の回数を増やす」（47人）などが、市政モニター制度をさらに充実
させるための工夫や改善点として多く挙げられています。

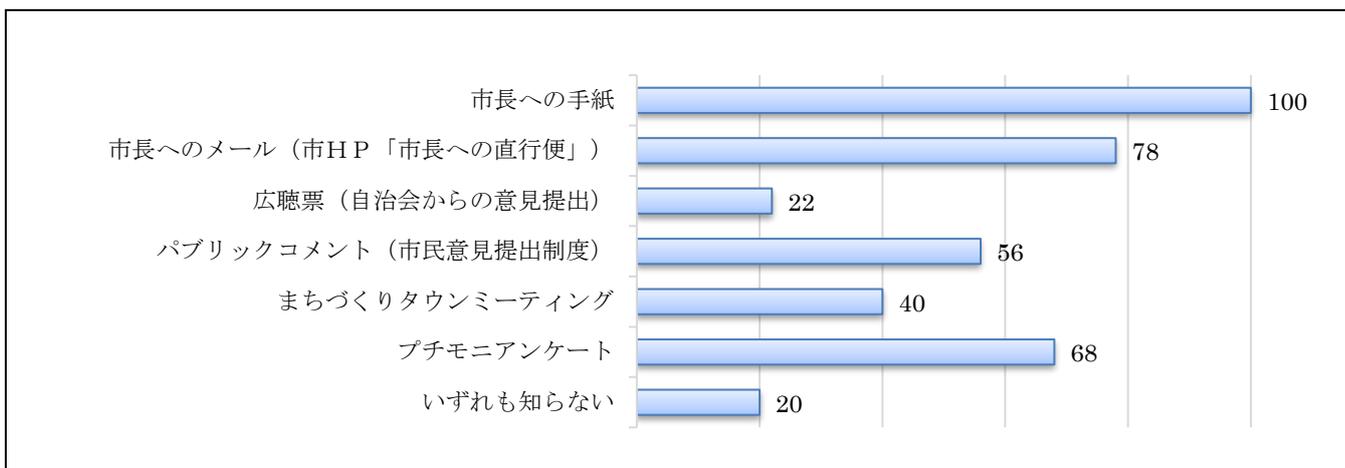
問4. 問3で「10. その他」と答えた方にお伺いします。市政モニター制度をさらに充実させる ために、必要だと思う工夫や改善点を教えてください。（自由記入）

回答ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・小、中、高生の意見を聞く。
- ・お題目を決めて自由に意見を書いてもらって良い案があれば採用し、何か報奨みたいなのがあればいろいろ考えた意見があげられると思います。
- ・市民の意見を聞く機会での位置付けであれば、市政の重点内容や進捗状況など具体的に知る機会を作ってもらいたい。
- ・アンケートに答えたことが市政に活かされた場合アイデア賞を設けて表彰する。
- ・土日を利用して、意見交換会を年数回開催して貰いたい。市政に対する声を市政モニターに頼るより、もっと幅広く声を聞く機会を考えて貰いたい。市民と行政に大きな隔たりや溝が感じられる。どっちもが他人事。
- ・市の仕事や取り組みを知る機会や体験があっても良いかも。
- ・人数の割合が現役世代が少なかったと感じます。モニター年齢の偏りを無くすようにして欲しい。会社員として働いている時にはモニターがあること自体を知らなかったなので、広く周知する必要がある。
- ・テーマごとのアンケートとは別に、テーマを決めないフリートーク部分の設置をお願いしたい。
- ・アンケート結果からこのような新しい事をはじめた・・・など、新しく始める事の根拠を分かりやすくすれば、アンケートが活着していると実感できると思います。

問5. 市では、市政モニター制度以外にも、市民の声を市政に反映させるための広聴活動を実施しています。次の中で、あなたが知っているものを教えてください。(複数選択)

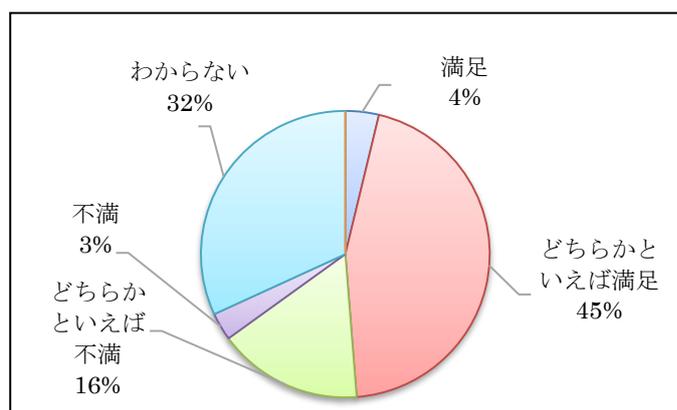
1. 市長への手紙	100人
2. 市長へのメール(市HP「市長への直行便」)	78人
3. 広聴票(自治会からの意見提出)	22人
4. パブリックコメント(市民意見提出制度)	56人
5. まちづくりタウンミーティング	40人
6. プチモニアンケート	68人
7. いずれも知らない	20人



「1. 市長への手紙」(100人)、「2. 市長へのメール(市HP「市長への直行便」)」(78人)などが、市政モニター制度以外に知っている広聴活動として多く挙げられています。

問6. 現在の新居浜市の広聴活動についてどう思いますか。(1つ選択)

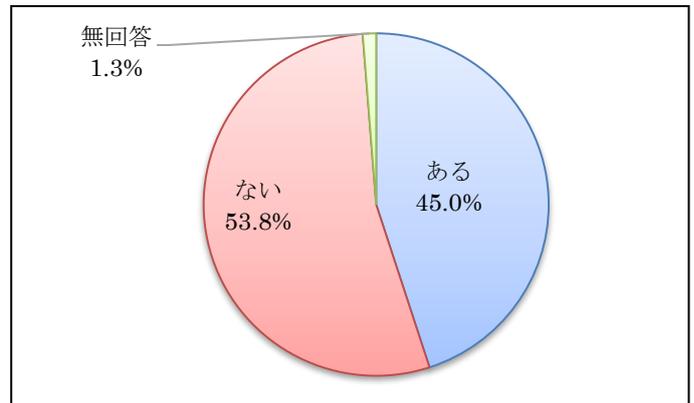
1. 満足	6人
2. どちらかといえば満足	72人
3. どちらかといえば不満	26人
4. 不満	5人
5. わからない	51人



「2. どちらかといえば満足」(45%)と答えた方が最も多く、次いで「5. わからない」(32%)、「3. どちらかといえば不満」(16%)、「1. 満足」(4%)、「4. 不満」(3%)の順となっています。

問6. プチモニアンケートについてお伺いします。市政についてWEB上で答える簡単なアンケートを市では実施しています。プチモニアンケートにお答えいただいたことはありますか。(1つ選択)

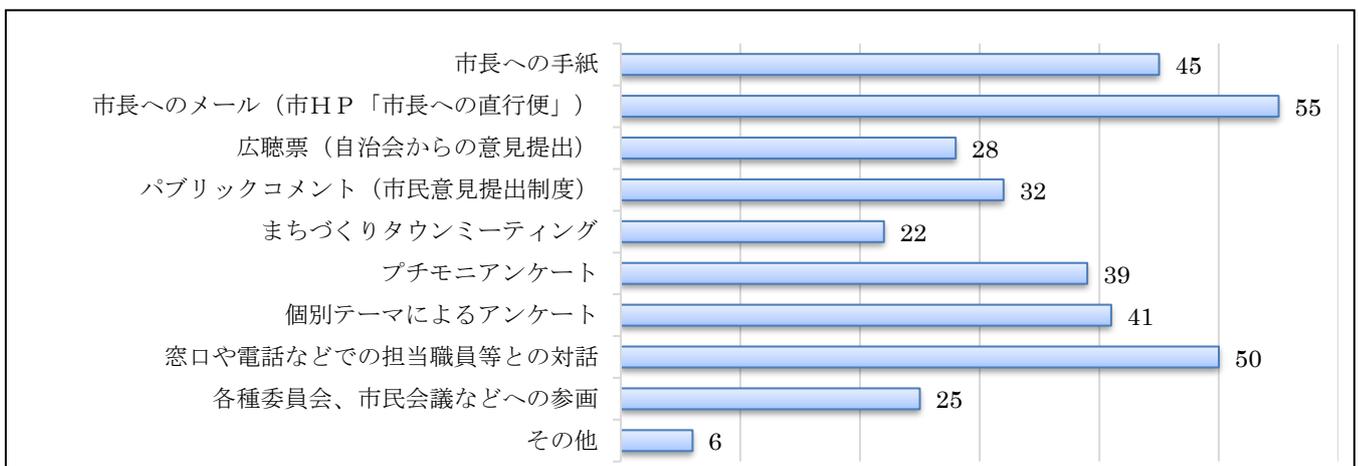
1. ある	72人
2. ない	86人
無回答	2人
合計	160人



「2. ない」(53.8%)と答えた方と、「1. ある」(45.0%)と答えた方が概ね半分ずつの結果となり、若干答えたことのない方が多い結果となりました。

問8. 市政にあなたの意見を反映させたいとき、あなたが一番意見を伝えやすいと思う方法はどれですか？(複数選択)

1. 市長への手紙	45人
2. 市長へのメール(市HP「市長への直行便」)	55人
3. 広聴票(自治会からの意見提出)	28人
4. パブリックコメント(市民意見提出制度)	32人
5. まちづくりタウンミーティング	22人
6. プチモニアンケート	39人
7. 個別テーマによるアンケート	41人
8. 窓口や電話などでの担当職員等との対話	50人
9. 各種委員会、市民会議などへの参画	25人
10. その他	6人



市に対して最も意見を伝えやすいと選択されたのは「2. 市長へのメール(市HP「市長への直行便」)」

(55人)、で、その他「8. 窓口や電話などでの担当職員等との対話」(50人)、「1. 市長への手紙」(45人)などが、多く挙げられています。

問9. その他、新居浜市の広聴活動について、ご意見があればお聞かせください。

(自由記入)

たくさんの回答をいただき、ありがとうございました。本報告では回答の一部を紹介します。

- ・今後も市政モニターとして積極的に発信していきたいです。インスタを通して大好きな新居浜を広めたいです。私は、パソコンは使えないので、これまで通り、紙面で市政モニターのアンケートで答えたいです。何でも、パソコンやWEBの時代になっていますが、このように紙でアンケートに答えられるのは本当にありがたいです。引き続きお願いします。
- ・各校区(各公民館)での意見交換会の交流をはかる事により、市民の思いが伝わるかも? ※各校区で年2回程度
- ・スーパーの「お客様の声のように、もう少し市民が様々な意見を伝える場所、手段があればよいと思う。
- ・市の広聴活動も自分が市政モニターを始めてから自分の考えが(一市民として)市へ届く嬉しさを知りました。そして返答のあることに感謝です。
- ・市政に限ったことではないですが公務員は意見を聞いたとしても、聞いただけで何も改善しなさをうなのでそう思わないような感じが有れば意見は来ると思います。
- ・多くの人達の意見が有ると思います。いろいろな方々の言葉を聞いて、一人暮らしの方や交通の必要性など生の声があります。私も良く耳に入ります。
- ・月一程度であかがねミュージアム等で実際に交流できるといいです。
- ・気楽に市長や市にメールもしくは、LINEとか出来る体制にする。
- ・市政モニターは、どんどんやっていけばいいと思います。
- ・偶然、モニター募集を知り初めて応募してみました。モニター制度自体の認知度が低い気がします。多くの意見があると、まとまらないとは思いますが、今の人数でも様々な意見があるので、もう少しモニター数を増やしてみてもよいかと思います。
- ・市政モニターは、新居浜市の広聴活動としていい方法であると思うがモニター会議に参加しての感想イメージはあまりよくない。年齢層が偏っているのはしかたないとしても、意見としていいと思うのは少ししかなかった。
- ・実際の反映には時間がかかると思うのですが、こうしてたくさんの意見を集めていることを今回のモニターを通じて知ることができました。
- ・記述が多いと少し回答に時間がかかり答えにくいこともありますが、字数制限等がなく、文字数が少なくても問題がない点はありがたかったです。選択式のアンケートであればすぐに答えられるので、もっと頻度やアンケートの数が多くてもいいのかなと思います。
- ・難しいと思いますが、若い世代の意見を聞ける方法を考えていければよいと思います。
- ・モニターになる事で、市に対して普段何気なく思っている事や感じた事を気軽に答えられるので、いいなと思っています。また市をより良くしたいという自分の意見が反映されると嬉しいという期待もある。

- ・窓口や電話だと、誤解のないように伝わりやすいので良いが、市役所の営業時間内に限られるので、仕事に就いている人には難しいと思う。
- ・以前市長へのメールを送ったら、秘書課の方がとても丁寧に対応してくださり、好印象を抱いた。職員の態度が良ければ、意見が通らなくても不思議と嫌な印象にならないので、こうすればもっと良くなるというような意見を届けたいと思う。
- ・実施されていることが知られていないし、意見を出しても聞いて貰えないという感覚が強い。
- ・これからも新居浜市が発展していく為にも市民の声を大切にして頂きたいと思います。その為にも、事前に市民の声としてのアンケートを実施してもらって反映させて頂ければと思います。
- ・いろいろな広聴活動があるとのことですが、どの活動も市民からの意見を聞くだけ、聞きっぱなしだと思います。『貴重なご意見としてお聞きしておきます。』『今後の参考にさせていただきます。』市議会議員にお願いのするのが一番でしょうね。彼らは市民の声を聞くのが仕事ですからね。
- ・なかなか意見を言える機会がないので、モニターのように意見が言える場が増えると良いと思う。
- ・市政モニターをする事によって、設問内容から知り得た市の活動もあります。普段なかなか気がつかない新居浜市の取組を広く知っていただく為にも、多くの方の意見を聞く為にも、いろんな市民の方々に、モニターを経験していただけたらよいと思います。
- ・自分の住んでいる町なのに、まだまだ知らない事がたくさんあります。私の周りでは、市への要望をよく耳にしますが、それを市に届ける方法が分からずそのままになっている人がたくさん居ます。その声をもっと簡単に届けられる、身近なものであって欲しいです。
- ・土日祝日関係なく仕事してるので、興味があっても日程によっては参加が難しい。平日の開催や、子供が幼稚園や小学校が終わってから子供も交えて参加出来るようならありがたいです。また、オンラインでYouTubeのLive配信やInstagramを利用してるのでInstagramのLive配信、ストーリーズに流すなどどこにいても参加出来るような仕組みだと参加しやすいです。
- ・今回初めて意見を直接伝える手段があることを知りました。生活していて、ちょっとした困り事とか意見を言える機会があればもっと新居浜市民が増えるかもしれないな、と思いました。
- ・市長や市議がSNSを上手に使って発信しているのは素晴らしいと思います。若者により声が届けばよいなと思います。
- ・パブリックコメントなどは、その案件に興味を持っていて、パブコメか実施されていることを知っていなければならない。強く賛成か反対の偏った人の意見しか得られないのではないか。ランダムに選ばれたモニターなどに意見を聞く方が良いのではないのでしょうか。



<まとめ>

このたびのアンケートには、160名の皆様から貴重なご意見を頂戴しました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

市の広聴活動に関して、実際に市政モニターとしてご参加いただいている皆様に、活動を通じたご感想や制度の改善点を伺いました。その結果、市政への理解や関心が「高くなった」「どちらかといえば高くなった」と回答された方が約9割を占め、市政モニター制度の意義が改めて確認されました。

一方で、制度の改善点としては、昨年度に続き「モニターの人数を増やしてほしい」とのご意見が多く寄せられました。また、「若い世代のモニターを増やし、年代の偏りをなくしてほしい」というご要望もいただいております。次年度の募集に際しては、広報媒体やその内容を工夫し、より多くの若い世代の皆様に関心を持っていただけるよう努めてまいります。

次に、広聴手段として特に認知度が高かったのは、「市長への手紙」や「市長へのメール」でした。中でも「市長へのメール」は、「市に意見を伝えやすい」と感じる方が最も多い手段となっています。

近年では、世代を問わず SNS やインターネットを活用する方が増えており、時間や場所を問わず意見を寄せられる手段へのニーズが高まっています。これを踏まえ、今後もメールや WEB アンケートの活用を推進し、市民の皆様の声をより身近に反映できる広報活動に取り組んでまいります。

次に施設見学会や意見交換会の開催についてですが、施設見学会の土日開催に関するご要望については、見学先の利用状況や説明担当課の業務都合により、平日開催となる場合がございます。ご不便をおかけすることもあるかと存じますが、可能な限り休日開催を優先できるように検討してまいります。

また、これまで年度末に開催することが多かった意見交換会についても、市政への関心をより深めていただくため、開催時期の見直しを検討します。アンケート結果を踏まえ、市政に関心を持つきっかけを早い段階で提供し、1年を通じた継続的な対話の場を設けていく考えです。

今回のアンケート結果をもとに、インターネットを活用した広聴活動の充実を図るとともに、市政モニターの皆様、そして市民の皆様がより市政を身近に感じ、主体的に関わっていただけるよう、双方向の対話型広聴の在り方を検討してまいります。

引き続き、市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(担当課：秘書課)